

教 科	科 目 名	単位数	学 年	学科またはコース	履 修
国 語	現代文 A	2	3	全 学 科	選 択

(1) 科目のねらい、使用教材など

科目のねらい	・近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ・生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
使用教材など	『現代文A』（東京書籍） 『最新国語便覧』

(2) 年間予定

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一 学 期	4	6	一 随想「さくらさくらさくら」	＊随想を読み、表現の面白さを味わう。 ＊人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養う。 ＊小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養う。
	5	4	二 小説「まじめな二人」	
	6	8	二 小説「まじめな二人」	
		1	◎1学期期末試験	
	7	6	三 小論文学習	＊実際に書いて、小論文を書くことの基本を学ぶ。
		25		
二 学 期	8	4	三 小論文学習	＊表現や展開を的確に読み取り、主題を理解する。
	9	6	四 小説「みどりのゆび」	
		1	◎2学期中間試験	
	10	6	五 詩歌「永訣の朝」他	＊言葉の表現に注目し、比喻表現が何を表しているのかを理解する。
	11	8	六 評論「分からないからおもしろい」	
	12	1	◎2学期期末試験	＊主題について考え、人間に対する理解を深める。
		6	七 小説「こころ」	
		32		
三 学 期	1	4	七 小説「こころ」	
		1	◎学年末試験	
		5		

(3) 評価の観点

評価の 観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の 内容	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の 方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート、プリント、ワークシート	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント、ワークシート	・レポート・感想文などの作成した文章 ・ノート、プリント、ワークシート ・定期考査	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント、ワークシート ・定期考査	・学習活動における発言内容 ・ノート、プリント、ワークシート ・定期考査

(4) 評価項目・評価点など

評価項目・学習にあたって・評価点		
① 定期テスト	1年に4回行われます。高校3年生としての言語的な基礎学力が身につくように学習しましょう。	70点
②ノート・プリント提出	授業時に使用するプリントは、毎時間回収し点検します。 ワーク・プリント類は、メ切を設け適宜回収して点検します。 意欲的に学習し、メ切を守って提出しましょう。	30点
③課題提出	主に授業時に指示します。小論文や小説の創作など、文章を書くことが中心となります。	
④授 業	国語常識の学習も行います。予習・復習を積極的に行うようにして下さい。授業に際し、教科書・辞書・便覧等は必ず準備し、着席していること。休まずに出席し、積極的に授業に参加していること。授業において自分なりに考え、挙手や発言等で適切に表現していることも評価に加えます。	